

平成25年12月期 第2四半期決算短信【日本基準】(連結)



平成25年11月6日

上場会社名  **富士ソフト株式会社** 上場取引所 東京証券取引所

コード番号 9749 URL <http://www.fsi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 坂下 智保

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理部長 (氏名) 内藤 達也 TEL (045)650-8811(代)

四半期報告書提出予定日 平成25年11月8日 配当支払開始予定日 平成25年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績 (平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	69,863	△0.6	4,135	3.2	4,733	26.5	2,439	66.2
25年3月期第2四半期	70,304	6.9	4,007	90.6	3,740	141.3	1,468	454.3

(注) 包括利益 25年12月期第2四半期 3,724百万円 (201.3%) 25年3月期第2四半期 1,236百万円 (168.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	78 41	78 24
25年3月期第2四半期	46 78	46 78

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	150,668	92,316	54.6
25年3月期	153,160	89,233	51.5

(参考) 自己資本 25年12月期第2四半期 82,193百万円 25年3月期 78,933百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	11 00	—	13 00	24 00
25年12月期	—	14 00	—	—	—
25年12月期(予想)	—	—	—	7 00	21 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想 (平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	104,000	—	5,700	—	5,900	—	3,000	—	96 42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、平成25年6月24日に開催されました定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けまして、平成25年度より決算期を3月31日から12月31日に変更いたしました。従いまして、経過期間となる平成25年12月期は、3月決算の子会社につきまして、平成25年4月1日から平成25年12月31日の9ヵ月を連結対象期間としております。なお、12月決算の子会社につきましては、従来通り、平成25年1月1日から平成25年12月31日の12ヶ月間を連結対象期間としております。

[参考]

下記の%表示（調整後増減率）は、当社及び3月決算の連結対象会社の当期業績を9ヶ月（平成24年4月1日から平成24年12月31日）の期間に合わせて次期業績予想と比較した増減率です。

売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	(単位：百万円)
104,000 1.8%	5,700 5.9%	5,900 8.1%	3,000 20.2%	

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の：無異動）
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 - ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期 2 Q	33,700,000株	25年 3 月期	33,700,000株
② 期末自己株式数	25年12月期 2 Q	2,560,625株	25年 3 月期	2,595,064株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期 2 Q	31,115,075株	25年 3 月期 2 Q	31,384,631株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料4ページ 「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報.....	2
(1) 経営成績に関する説明.....	2
(2) 財政状態に関する説明.....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明.....	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	4
3. 四半期連結財務諸表.....	5
(1) 四半期連結貸借対照表.....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間.....	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安による輸出環境の持ち直しや政府の各種政策（いわゆるアベノミクス）への期待感から、大企業を中心に積極的な投資行動が見られる等、国内景気は回復傾向を示してまいりました。しかしながら、新興国の成長鈍化や欧米諸国の債務問題等、海外経済の下振れリスクもあり、依然として先行き不透明な状況で推移してまいりました。

当業界におきましては、景気回復に伴う企業のIT投資マインドの改善に加え、パブリッククラウドサービス等の新サービスへの期待も重なり、需要は底堅く推移してまいりました。

こうした状況の下、当社グループは、中期方針である「高付加価値事業構造への挑戦と創造」をより一層推し進め、「ICTの発展をお客様価値向上に結びつけるイノベーション企業グループ」を目指して活動してまいりました。

具体的には、市場ニーズの高い分野に経営資源を投入したことで、社会インフラ関連やネットビジネス系、ライセンスビジネスが堅調だったほか、金融関連の大型案件も獲得いたしました。併せて、案件の提案力・対応力、プロジェクトの管理力の強化によりプライム化を進め、さらには、効率的・効果的な業務推進体制の構築のため、営業力の強化や生産性・品質向上に継続的に取り組んでまいりました。

また、平成25年8月1日より、ニアショア開発の拠点として沖縄県那覇市に沖縄開発センターを開設したことに加え、平成25年10月1日より、自動車関連及びマイクロソフト関連のビジネスに特化した事業部を新設いたしました。

一方、新たなソリューション展開としましては、平成26年4月のWindows XPのサポート期間終了に対応するため、Windows 7またはWindows 8へのアップグレードサービスである「らくらくアップグレード for Windows」を自社開発し、最新のPC環境への移行支援に取り組んでまいりました。また、当サービスは、予めから推進しているスマートドキュメントサービスである「moreNOTE」とともに「ITpro EXPO 2013」にも出展する等の営業展開を行ってまいりました。さらに、ICTを活用したスマートな授業運営を目指す「みらいスクールステーション（校内情報配信システム）」やヒューマノイド・ロボット“PALRO”（パルロ）につきましても、各種展示会への出展やメディア媒体に取り上げられる等、受注・売上拡大に繋げてまいりました。

グループ経営につきましては、ヴィンキュラム ジャパン株式会社と株式会社ヴィックスが合併し、平成25年4月1日より株式会社ヴィックスとしてスタートを切っており、両社が保有する顧客基盤や技術力を有効活用することで、付加価値の高いITサービス事業を展開しております。

このような状況の下、第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は連結子会社除外の影響により698億63百万円（前年同期比0.6%減）となり、販売費及び一般管理費は125億59百万円（前年同期比1.3%減）、営業利益は41億35百万円（前年同期比3.2%増）となりました。また、金融系関連会社の持分法による投資利益を計上したことで、経常利益は47億33百万円（前年同期比26.5%増）となりました。さらに、特別利益に持分変動利益、特別損失に固定資産減損損失を計上したことにより、四半期純利益は24億39百万円（前年同期比66.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① S I（システムインテグレーション）事業

S I事業につきましては、組込系/制御系ソフトウェアにおいて、ネットワーク機器ベンダー向けのネットワークインフラ案件等の社会インフラ系が堅調に推移したものの、国内携帯メーカーの事業縮小の影響から減収となりました。業務系ソフトウェアにおいては、単体の金融系や教育関連分野、インターネットビジネス関連が好調に推移したことにより、前年の連結子会社除外の影響を補い、増収となりました。プロダクト・サービスにおいては、単体のライセンスビジネスは好調ではありましたが、証券系子会社のプロダクト販売が不振だったこともあり、減収となりました。アウトソーシングにおいては、連結子会社除外の影響等により、減収となりました。

以上の結果、売上高は654億50百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は37億5百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

※連結子会社除外・・・平成24年7月31日に連結子会社である富士ソフトKCS株式会社を譲渡しております。

※ S I 事業の主な売上高の内訳については、以下の通りであります。

また、当事業年度より S I 事業の内訳を組込系/制御系ソフトウェア、業務系ソフトウェア、プロダクト・サービス、アウトソーシングに変更しております。 (単位：千円)

	売上高	前年同期比(%)
S I 事業合計	65,450,597	99.1
システム構築	38,453,854	100.3
組込系/制御系ソフトウェア	18,239,435	97.4
業務系ソフトウェア	20,214,418	103.1
プロダクト・サービス	26,996,743	97.3
プロダクト・サービス	17,215,345	99.7
アウトソーシング	9,781,397	93.4

②ファシリティ事業

ファシリティ事業につきましては、当社及び一部の連結子会社が所有しているオフィスビルの賃貸収入等により、売上高は10億20百万円（前年同期比6.9%増）となり、営業利益は3億36百万円（前年同期比0.9%減）となりました。

③その他

その他につきましては、データエントリー事業及びコンタクトセンター事業等の収入により、売上高は33億92百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は93百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は1,506億68百万円（前連結会計年度末差24億92百万円減）となりました。その内訳は、流動資産が496億59百万円（前連結会計年度末差27億66百万円減）、固定資産が1,010億8百万円（前連結会計年度末差2億74百万円増）であります。

流動資産の主な変動要因は、受取手形及び売掛金が274億54百万円（前連結会計年度末差15億46百万円減）になったこと等によるものであります。

固定資産の主な変動要因は、有形固定資産が減価償却等により700億85百万円（前連結会計年度差12億59百万円減）となったことと、投資その他の資産のうち、投資有価証券が168億82百万円（前連結会計年度末差20億65百万円増）になったこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債総額は583億51百万円（前連結会計年度末差55億75百万円減）となりました。その内訳は、流動負債が359億47百万円（前連結会計年度末差47億54百万円減）、固定負債が224億3百万円（前連結会計年度末差8億21百万円減）であります。

流動負債の主な変動要因は、借入金の返済により一年内返済予定の長期借入金が81億21百万円（前連結会計年度末差15億87百万円減）となり、未払法人税が9億55百万円（前連結会計年度末差15億6百万円減）になったこと等によるものであります。

固定負債の主な変動要因は、借入金の返済により長期借入金が134億70百万円（前連結会計年度末差13億75百万円減）になったこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は923億16百万円（前連結会計年度末差30億83百万円増）となりました。また、自己資本比率は前連結会計年度末の51.5%から54.6%になりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、131億35百万円で前連結会計年度末に比べ5億62百万円減少しました。

なお、第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は35億52百万円（前年同期差31億55百万円の収入減）となりました。

これは、税金等調整前四半期純利益47億27百万円及び減価償却費31億95百万円、未払人件費の減少6億85百万円及び法人税等の支払による減少22億92百万円等によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は21億1百万円（前年同期差12億40百万円の支出増）となりました。

これは、有形・無形固定資産の取得による支出23億96百万円等によるものです。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は21億50百万円（前年差38億89百万円の支出減）となりました。

これは、短期借入金の借入れによる収入87億99百万円及び返済による支出71億45百万円、長期借入金の借入れによる収入30億44百万円及び返済による支出60億6百万円等によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年12月期の通期連結業績予想につきましては、金融系関連会社の持分法投資利益の改善による影響を鑑みて、平成25年5月9日「平成25年3月期 決算短信」にて公表致しました業績予想より、経常利益59億円（前回予想比5.4%増）、当期純利益30億円（前回予想比11.1%増）と、変更しております。なお、売上高1,040億円、営業利益57億円は、いずれも前回公表しました業績予想から修正しておりません。

※上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

一部の連結子会社は、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び預金	12,990,227	12,734,901
受取手形及び売掛金	29,000,687	27,454,068
有価証券	3,024,552	2,359,872
商品	437,426	322,038
仕掛品	2,101,571	1,664,451
原材料及び貯蔵品	27,538	34,120
その他	4,910,158	5,136,552
貸倒引当金	△66,357	△46,945
流動資産合計	52,425,804	49,659,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	56,702,822	56,791,251
減価償却累計額	△20,404,301	△21,105,906
建物及び構築物(純額)	36,298,521	35,685,345
土地	30,415,744	30,415,744
建設仮勘定	104,348	16,860
その他	16,389,951	15,375,867
減価償却累計額	△11,863,382	△11,408,055
その他(純額)	4,526,569	3,967,811
有形固定資産合計	71,345,183	70,085,762
無形固定資産		
のれん	3,304,085	3,726,701
ソフトウェア	4,268,065	4,223,242
その他	229,406	192,548
無形固定資産合計	7,801,557	8,142,491
投資その他の資産		
投資有価証券	14,816,269	16,882,165
その他	6,818,306	5,939,685
貸倒引当金	△47,028	△41,160
投資その他の資産合計	21,587,548	22,780,691
固定資産合計	100,734,289	101,008,945
資産合計	153,160,094	150,668,004

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
(負債の部)		
流動負債		
買掛金	8,295,215	7,420,705
短期借入金	6,351,235	8,005,305
1年内償還予定の社債	5,000	—
1年内返済予定の長期借入金	9,708,848	8,121,368
未払費用	7,427,421	6,402,652
未払法人税等	2,461,725	955,715
役員賞与引当金	201,301	80,483
工事損失引当金	257,389	42,641
その他	5,994,180	4,919,117
流動負債合計	40,702,315	35,947,989
固定負債		
長期借入金	14,845,271	13,470,176
退職給付引当金	4,755,794	4,802,757
役員退職慰労引当金	315,628	286,720
その他	3,307,663	3,843,538
固定負債合計	23,224,357	22,403,192
負債合計	63,926,673	58,351,181
(純資産の部)		
株主資本		
資本金	26,200,289	26,200,289
資本剰余金	28,438,965	28,505,941
利益剰余金	36,696,948	38,734,044
自己株式	△5,161,787	△5,175,893
株主資本合計	86,174,415	88,264,382
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,779,466	2,741,395
繰延ヘッジ損益	26,338	13,746
土地再評価差額金	△9,051,088	△9,051,088
為替換算調整勘定	3,994	225,271
その他の包括利益累計額合計	△7,241,288	△6,070,676
新株予約権	95,597	16,606
少数株主持分	10,204,695	10,106,511
純資産合計	89,233,420	92,316,823
負債純資産合計	153,160,094	150,668,004

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
売上高	70,304,990	69,863,465
売上原価	53,573,107	53,168,752
売上総利益	16,731,883	16,694,712
販売費及び一般管理費	12,724,368	12,559,158
営業利益	4,007,515	4,135,553
営業外収益		
受取利息	5,573	14,604
受取配当金	63,263	57,668
持分法による投資利益	—	582,233
システムサービス解約収入	57,167	127,648
助成金収入	33,080	55,324
その他	59,605	152,081
営業外収益合計	218,690	989,560
営業外費用		
支払利息	237,938	151,438
持分法による投資損失	179,154	—
システムサービス解約損失	4,242	137,960
為替差損	19,847	24,362
その他	44,182	77,653
営業外費用合計	485,365	391,414
経常利益	3,740,839	4,733,699
特別利益		
投資有価証券売却益	5,036	23,559
持分変動利益	—	455,926
関係会社株式売却益	284,266	—
事業所閉鎖損失戻入益	10,492	5,041
特別利益合計	299,795	484,527
特別損失		
固定資産減損損失	—	387,831
事務所移転費用	17,451	4,098
支払補償金	—	40,565
システム移行関連費用	—	58,100
特別損失合計	17,451	490,594
税金等調整前四半期純利益	4,023,183	4,727,632
法人税、住民税及び事業税	1,925,753	758,728
法人税等調整額	393,028	1,570,107
法人税等合計	2,318,781	2,328,835

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,704,401	2,398,796
少数株主利益又は少数株主損失 (△)	236,251	△40,937
四半期純利益	1,468,149	2,439,734

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,704,401	2,398,796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△385,523	983,910
繰延ヘッジ損益	△49,621	△23,344
為替換算調整勘定	26,544	373,750
持分法適用会社に対する持分相当額	△59,650	△8,234
その他の包括利益合計	△468,251	1,326,082
四半期包括利益	1,236,150	3,724,879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,017,622	3,610,945
少数株主に係る四半期包括利益	218,528	113,934

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,023,183	4,727,632
減価償却費	3,313,543	3,195,464
固定資産減損損失	—	387,831
システム移行関連費用	—	58,100
のれん償却額	164,482	222,991
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	85,627	46,963
支払利息	237,938	151,438
投資有価証券売却損益 (△は益)	△5,036	△23,559
関係会社株式売却損益 (△は益)	△284,266	—
持分法による投資損益 (△は益)	179,154	△582,233
持分変動損益 (△は益)	—	△455,926
売上債権の増減額 (△は増加)	1,493,801	1,621,802
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△472,528	552,956
仕入債務の増減額 (△は減少)	△369,782	△911,503
未払人件費の増減額 (△は減少)	441,722	△685,280
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△607,871	△216,956
未払金の増減額 (△は減少)	△396,824	△569,288
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△126,958	△235,700
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△21,703	△214,748
その他	367,079	△1,286,797
小計	8,021,561	5,783,184
利息及び配当金の受取額	70,011	184,450
利息の支払額	△226,064	△123,171
法人税等の支払額	△1,157,459	△2,292,397
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,708,048	3,552,065
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△206,885	△703,797
無形固定資産の取得による支出	△1,197,680	△1,692,203
有価証券の取得による支出	—	△280,402
有価証券の売却による収入	—	652,529
投資有価証券の取得による支出	△42,553	△773,457
投資有価証券の売却による収入	118,376	702,511
子会社株式の取得による支出	△459,896	△47,600
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	784,234	—
その他	144,114	41,240
投資活動によるキャッシュ・フロー	△860,290	△2,101,180

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	7,915,000	8,799,800
短期借入金の返済による支出	△11,283,980	△7,145,730
長期借入れによる収入	2,599,002	3,044,289
長期借入金の返済による支出	△4,562,130	△6,006,864
自己株式の取得による支出	△175	△434,382
配当金の支払額	△314,245	△405,070
少数株主への配当金の支払額	△138,722	△130,083
リース債務の返済による支出	△249,825	△302,666
ストック・オプションの行使による収入	—	434,858
その他	△5,000	△5,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,040,077	△2,150,849
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,462	125,050
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△197,782	△574,914
現金及び現金同等物の期首残高	13,279,487	13,698,127
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	110,564	12,664
現金及び現金同等物の四半期末残高	13,192,269	13,135,876

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	S I 事業	ファシリ ティ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	66,078,169	954,642	67,032,811	3,272,179	70,304,990	—	70,304,990
セグメント間の内部売上高又は振替高	21,937	364,689	386,627	431,927	818,554	(818,554)	—
計	66,100,107	1,319,331	67,419,438	3,704,106	71,123,545	(818,554)	70,304,990
セグメント利益	3,551,922	339,844	3,891,767	114,412	4,006,180	1,334	4,007,515

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データエントリー事業及びコンタクトセンター事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額1,334千円には、セグメント間取引消去1,334千円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	S I 事業	ファシリ ティ事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	65,450,597	1,020,157	66,470,754	3,392,710	69,863,465	—	69,863,465
セグメント間の内部売上高又は振替高	29,956	313,467	343,423	569,056	912,480	(912,480)	—
計	65,480,553	1,333,625	66,814,178	3,961,767	70,775,945	(912,480)	69,863,465
セグメント利益	3,705,652	336,682	4,042,334	93,139	4,135,474	78	4,135,553

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、データエントリー事業及びコンタクトセンター事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額78千円には、セグメント間取引消去78千円が含まれております。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「S I 事業」セグメントにおいて、事業内容の変更及び一部事業の撤退となった該当資産について、帳簿価額の全額を固定資産減損損失として特別損失に計上しております。なお、当該固定資産減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては、387,831千円であります。